

パブリックコメント（意見公募）の実施結果について

募集期間：令和3年7月16日（金）～8月16日（月）

提出者数：4人

意見数：7件

No.	政策	意見要旨	意見に対する市の考え方
1	政策1	政策に賛同。 そのうえで「市民団体や民間事業者との協働」の取組を進め、民間事業者も地域に貢献できるよう検討をお願いしたい。	様々な課題の解決に向けて、知見やノウハウを有する民間事業者等との連携は有効であると考えており、いただいた提案については、関係部署との共有を図ります。
2	政策3	政策に賛同。 そのうえで「激甚化・頻発化する自然災害や新型コロナウイルス感染症など」への対応を強化するため、次の検討をお願いしたい。 ①エネルギーの多重化等による、防災・避難施設の強靱化の推進 ②在宅避難が可能になるうる再エネ・創エネ設備の普及継続	自然災害へのリスクシナリオや地域防災計画等を踏まえ、避難所等の環境整備については、計画的に実施していきます。また、再生可能エネルギーの普及については、脱炭素社会の形成に向けて重要な取組であるとの認識のもと、人にも環境にもやさしい取組を進めていきます。
3	政策3	夏季の室内での熱中症防止、冬季のヒートショックによる浴室事故防止についても検討をお願いしたい。	関連する保健・福祉・医療に関する政策においても、市民への啓発など、適切に対応していきます。
4	政策3	ゼロカーボンシティの実現には、エネルギーの供給側と需要側、双方の対策を進めていくことが重要であり、供給側で再生可能エネルギーの普及拡大を進める一方、需要側で徹底的な省エネや節電を進めることが重要である。	第6次総合振興計画後期基本計画では、SDGsの推進を図りながら、市民の環境意識の啓発に努め、ゼロカーボンシティの実現を目指す取組を進めていきます。
5	政策4	「公園・緑の整備と保全」は重要であり、引き続き後期基本計画において取り組むべき施策ではないか。 特に公園については、市民一人当たりの公園面積が県内平均より低い現状にあり、多様な世代の交流や地域の活気のためにも必要性を強く感じる。	公園や緑地については、市民の憩いの場であり、良好な住環境の形成だけではなく、災害時における避難場所としても重要な役割を担っていると認識しています。そのため、後期基本計画における公園等の整備については、施策「花と緑あふれる空間の創出」に位置づけ、これまでと同様に、計画的に推進していくものとしています。 花や緑といった鴻巣市の特色を生かした魅力あるまちづくりを進めていくためには、公園等の役割は非常に大きいものと認識しており、地域の方と協力しながら、市民が主体的に「住みよいまちづくり」に参画できる取組を推進していきます。
6	政策3・4・5	コウノトリを活用したSDGsの取組（サステナブル・ツーリズム） ①コウノトリの飼育・放鳥・定住化を推進 ②コウノトリ関連を組み合わせることに伴う観光客の増大化	コウノトリ野生復帰センターが完成し、間もなくコウノトリの飼育が始まることから、コウノトリを魅力あるまちづくりのシンボルとして、自然環境の保全や地域経済の発展につながる効果的な取組を検討するほか、SDGsの推進に資する施策展開を図っていきます。
7	政策2	感染症対策としては、各政策に通じた対策をとる必要を認識し、統一的な施策を講じたうえで、必要に応じて個別対応を考慮すべきである。	感染症への対策としては、感染症から市民の生命と健康を守るため、一人一人の予防対策や医療提供体制の確保等と一体となった取組が必要であると考えています。そのうえで、新型コロナウイルス感染症の影響は、様々な分野に影響を与えたことから、後期基本計画では、それぞれの政策・施策の意図に沿った対応を示します。